平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	集落排水事業特別会計	03	01			
細事業名	集落排水事業					

担当部局	担当課等	担当課長の氏名	担当者の氏名
上下水道部	下水道整備課	小石原　吉雄	小牧　義直

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	3　水洗化の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	農村の生活環境の改善、農業用用排水の水質保全、農業後継者の定住促進。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				平成23年度に佐濃南処理区の供用開始をする。
				平成26年度において、集落排水事業で、水洗化人口6，095人を目指す。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	佐濃南処理区の平成23年度事業完了に向け、管渠布設工事、汚水処理施設用地購入を行った。（20年度からの繰越事業費155，500千円含む）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	佐濃南処理区　計画管路延長　11，111m
		平成21年度まで施工済延長　8，347．6m（うち平成21年度施工済　4，033．1m）
		平成21年度末水洗化人口　5，629人

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	2	1,400		国庫支出金		
	11	633		府支出金	農業集落排水資源循	82,270
	12	203		起債	下水道事業債等	115,700
	13	17,385		分担金・負担金		
	14	190		その他		
	15	152,045				
	17	4,653				
	22	23,990		一般財源		2,529
事業費合計		200,499	合計			200,499

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	平成23年4月の供用開始に向け、75．1%管渠の整備が完了した。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	集落排水事業でコスト削減に取り組む中で、削減の余地は無いと思われる。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	平成21年度に見直しを行った「京丹後市水洗化計画」に従って整備を進める。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
C	A　事業拡大	理由	集合処理区域から個別処理区域に見直しをした地区もあり、平成23年度佐濃南処理区工事完了後、事業は縮小する。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	浄化槽整備事業特別会計	02	02	01	01	
細事業名	浄化槽設置整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
上下水道部	
担当課等	担当者の氏名
下水道整備課	小石原　吉雄
	河嶋　英一

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	3　水洗化の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	生活環境の改善、公共用水域の水質保全
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	生活排水の適正処理対策を推進し、清らかな水環境と将来への恵み豊かな環境を継承するため、平成22年度から平成26年度の計画として、542基（1，638人分）の整備を目指す。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市水洗化計画に定める個別処理区域で、条例に定める浄化槽を市が設置
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	5人槽*8基、7人槽*21基、10人槽*1基、14人槽*1基、25人槽*1基　合計32基　40,982千 （うち事務費　338千円）　平成21年度末現在で、225基を整備している。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	125		国庫支出金	汚水処理施設整備交	11,666
	13	213		府支出金		
	15	40,644		起債	財政融資資金	29,000
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		316
事業費合計		40,982	合計			40,982

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
▲	○　進捗している（できている）	理由	平成22年3月に水洗化計画を見直し、整備区域が増加したことで、今後設置基数が増えていく。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
▲	○　削減の余地がなかった	理由	新技術採用によりさらにコスト削減の余地はある。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	平成22年3月に水洗化計画が見直され、水洗化が進んでいく。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	平成22年3月に水洗化計画が見直され、水洗化が進んでいく。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	02	01
細事業名	浄化槽設置整備事業費補助金					

担当部局	担当課長の氏名
上下水道部	
担当課等	担当者の氏名
下水道整備課	小石原　吉雄
	河嶋　英一

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	3　水洗化の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	生活環境の改善、公共用水域の水質保全	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				集合処理施設が未整備な区域において、生活排水の適正処理対策を推進し、清らかな水環境を確保する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市水洗化計画で定める集合処理区域のうち、下水道事業等未認可区域において、浄化槽を設置した者に対し補助金を交付。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	5人槽*15基、7人槽*28基、10人槽*2基　合計45基　18,804千円

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	18,804		国庫支出金	汚水処理施設整備交	6,268
				府支出金	浄化槽設置整備事業	6,268
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		6,268
事業費合計		18,804	合計			18,804

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	浄化槽の設置により適正処理ができ、生活排水がきれいになった。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	国の補助金を有効に活用し、普及促進しており、コスト削減の余地はない。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	水洗化計画手法については、定期的に見直しが必要である。
	事業規模の方向性			
	C	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	集合処理施設が未整備な区域において、水洗化を促進するために必要な事業である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	09	01	01
細事業名	集落排水事業特別会計繰出金					

担当部局	担当課長の氏名
上下水道部	
担当課等	小石原　吉雄
下水道整備課	担当者の氏名
	小牧　義直

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	3　水洗化の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	集落排水事業特別会計繰出金を集落排水事業特別会計へ繰入れることにより同会計の経営の安定化を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	繰出金により集落排水事業の経営の安定化を図る。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	一般会計から集落排水事業特別会計へ繰り出しを行う。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	実質収支で黒字決算を可能にした。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	28	224,000		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		224,000
事業費合計		224,000		合計		224,000

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	繰出金により実質収支を黒字とし、経営の安定化に寄与している。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	集落排水事業でもコスト削減に取り組む中での繰出金であり、削減の余地はないと思われる。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	事業の実施に伴う元利償還金が増える一方、料金収入の急激な増加が見込めないため、少なくとも繰出金の現状維持が必要である。また、料金値上げ等の検討も必要である。

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	事業の実施に伴う元利償還金が増える一方、料金収入の急激な増加が見込めないため、少なくとも繰出金の現状維持が必要である。また、料金値上げ等の検討も必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	浄化槽整備事業特別会計	02	02	01	01	
細事業名	浄化槽整備事業特別会計繰出金					

担当部局	担当課長の氏名
上下水道部	
担当課等	小石原　吉雄
下水道整備課	担当者の氏名
	河嶋　英一

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	3　水洗化の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	浄化槽整備事業特別会計繰出金を、浄化槽整備事業特別会計へ繰入れることにより、同会計の経営の安定化を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	操出金により、浄化槽整備事業の経営安定化を図る。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	一般会計から浄化槽整備事業特別会計へ繰り出しを行う。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	実質収支で黒字決算を可能にした。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	28	10,000		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		10,000
事業費合計		10,000		合計		10,000

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	操出金により実質収支を黒字とし、経営の安定化に寄与している。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	浄化槽整備事業特別会計でもコスト削減に取組む中での操出金であり、削減の余地はないと思われる。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	事業の実施に伴う借入金の返済が増える一方、料金収入の急激な増加が見込めないため、少なくとも操出金は必要である。また、料金値上げ等の検討も必要である。

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	事業の実施に伴う借入金の返済が増える一方、料金収入の急激な増加が見込めないため、少なくとも操出金は必要である。また、料金値上げ等の検討も必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	公共下水道事業特別会計	03				
細事業名	公共下水道事業					

担当部局	担当課長の氏名
上下水道部	
担当課等	担当者の氏名
下水道整備課	小石原　吉雄
	蛭子ひとみ

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	4　下水道整備事業の見直し

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	生活環境の改善、公共用水域の水質保全	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	平成26年度までに公共下水道区域内の普及率79.3%を目標とする。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	○「京丹後市水洗化計画」の見直し 平成１８年度に策定した「京丹後市水洗化計画」を、現在の財政状況、人口の減少率などを加味して見直しを行った。 ○網野浄化センターの建設事業、各処理区における下水道管渠布設事業等を実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	○「京丹後市水洗化計画」平成２２年３月末見直し ○平成２２年３月３１日、網野処理区供用開始 ○公共下水道区域内の普及率52.4%、下水道管渠布設17.9km

●平成２１年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	2・3・4	75,305		国庫支出金	汚水処理施設整備交	801,907
	9	14		府支出金		
	11	3,375		起債	公共下水道事業債等	1,297,600
	12	1		分担金・負担金		
	13	500,397		その他		
	14	1,066				
	15	1,434,428				
	22	160,830		一般財源		75,909
事業費合計		2,175,416	合計			2,175,416

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	「京丹後市水洗化計画」の見直しを平成２２年３月末に行った。 網野処理区が平成２２年３月末に供用開始できた。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	公共下水道事業でコスト削減に取組む中で、削減の余地はなかった。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	平成２１年度見直しを行った「京丹後市水洗化計画」に従って整備を進める。

事業規模の方向性

C	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	平成32年度の早期水洗化事業完了に向けて、集合処理区域から個別処理区域に移行した地区もあるので、事業は縮小する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	04	04	01	01
細事業名	公共下水道事業特別会計繰出金					

担当部局	担当課長の氏名
上下水道部	
担当課等	担当者の氏名
下水道整備課	小石原　吉雄
	蛭子ひとみ

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	4　下水道整備事業の見直し

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るために、公共下水道事業を実施しているが、事業途中であり使用料収入の大幅な増額が見込めないことから、一般会計からの繰出金により事業の推進を図るもの。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	一般会計からの繰出金により事業の推進を図るもの。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	一般会計から公共下水道事業特別会計へ繰出を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	実質収支で黒字決算を可能にした。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	28	526,000		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		526,000
事業費合計		526,000		合計		526,000

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	繰出金により実質収支を黒字とし、経営の安定化に寄与している。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	公共下水道事業会計でもコスト削減に取組む中での繰出金であり、削減の余地はない。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	事業の実施に伴う借入金の返済は増える一方であり、減債基金の残高も少なくなっているため、繰出金は必要である。また下水道料金の値上げも今後検討する予定である。

事業規模の方向性			
A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	事業の実施に伴う借入金の返済は増える一方であり、減債基金の残高も少なくなっているため、繰出金は必要である。また下水道料金の値上げも今後検討する予定である。